

# ASBJ Newsletter



## 目 次

1. 企業会計基準等の開発（2014 年 2 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）
2. 企業会計基準委員会の概要（第 281 回～第 284 回）
3. 会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF) 会議がロンドンで開催
4. 会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) 会議に参加
5. 「中小企業の会計に関する指針（平成 25 年版）」の公表
6. 企業会計基準委員会委員長の選任
7. その他の委員会（業務推進委員会）委員の選任
8. 第 20 回基準諮問会議を開催
9. ASBJオープン・セミナー特別講演～Hans Hoogervorst IASB 議長に聞く～を開催
10. お知らせ
  - 1) 刊行物のご案内
  - 2) ASBJ Webセミナーのご案内
  - 3) 開示実務新任者向けFASF Webセミナーのご案内

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

## 1. 企業会計基準等の開発 (2014 年 2 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

- 1) 【ED】 [企業会計基準公開草案第 56 号 \(企業会計基準第 12 号の改正案\)「四半期財務諸表に関する会計基準 \(案\)」及び企業会計基準適用指針公開草案第 51 号 \(企業会計基準適用指針第 14 号の改正案\)「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針 \(案\)」](#) の公表 (2014 年 2 月 25 日)

- 2) 【ED】 [実務対応報告公開草案第 40 号「リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱い \(案\)」](#) の公表 (2014 年 3 月 7 日)

### 【凡例】

ED : 公開草案

Final : 会計基準/適用指針等 (最終)

## 2. 企業会計基準委員会の概要 (第 281 回～第 284 回)

- 1) [第 281 回 \(2014 年 2 月 7 日開催\)](#)

- |                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>a. IASB におけるリース・プロジェクトの検討状況</li><li>b. IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況</li><li>c. 企業結合会計基準の改正に伴う四半期会計基準の改正について</li></ol> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- a. 2014 年 1 月の IASB 及び FASB の共同ボード会議で議論された代替的なアプローチが紹介されるとともに、ASBJ が IASB と FASB に提出したコメント・レターとの関連性が整理され、今後の意見発信の方向性について審議が行われました。
- b. 作業部会で抽出した「検討が必要な項

目の候補」の詳細な分析の続きとその分析を踏まえた全体的な整理に関して、作業部会の検討状況が説明され、審議が行われました。

- c. 2013 年 9 月 13 日に公表された改正企業結合会計基準の暫定的な会計処理の確定の取扱いに関連する「四半期財務諸表に関する会計基準」及びその適用指針の改正の方向性及び文案について検討が行われました。

- 2) [第 282 回 \(2014 年 2 月 24 日開催\)](#)

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>a. 2014 年 3 月会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応について</li><li>b. 実務対応報告公開草案「リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理に関する実務上の取扱い (案)」 (公表議決)</li><li>c. 企業会計基準公開草案「四半期財務諸表に関する会計基準 (案)」及び企業会計基準適用指針公開草案「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針 (案)」 (公表議決)</li><li>d. 税効果会計専門委員会における検討状況</li><li>e. IFRS 第 3 号「企業結合」適用後レビューに関する IASB からの情報要請の概要</li></ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- a. 2014 年 3 月の ASAF における議題のうち、概念フレームワーク、リース、開示に関する取組みについて、各テーマのペーパーの概要と ASBJ からの発言案が説明され、審議が行われました。
- b. 実務対応報告公開草案「リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」について説明がなされ、審議・採決が行われました。本公開草

案の公表は、3月に経済産業省により制定される事務取扱要領等を踏まえることから、当該事務取扱要領等の変更がなされた場合に一定の対応をとることを条件とし、また、字句等の修正は委員長に一任する前提で、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認されました。

- c. 企業会計基準公開草案「四半期財務諸表に関する会計基準(案)」及び企業会計基準適用指針公開草案「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(案)」について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認されました。
- d. 現在 JICPA で作成されている税効果会計に関する実務指針の ASBJ への移管について、税効果会計専門委員会における審議を踏まえた検討の進め方が説明され、審議が行われました。
- e. 2014年1月30日にIASBが公表したIFRS第3号「企業結合」の適用後レビューに関する「情報要請」、及びこれに対するASBJの対応について説明され、審議が行われました。

### 3) 第283回(2014年3月12日開催)

- a. 委員会運営について(非公開)
- b. 2014年3月会計基準アドバイザー・フォーラム(ASAF)の報告
- c. IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況
- a. 企業会計基準委員会の来年度の事業計画(案)及び予算(案)に関して説明がなされ、審議が行われました。

- b. 2014年3月3日及び4日にロンドンで開催されたASAF会議について、その主な内容が報告されました。
- c. 第9回の作業部会において議論が行われた、のれんの非償却についての主張の整理並びに「のれんの非償却」及び「資本性金融商品のOCI オプション」に関して、仮に基準を削除又は修正した場合における論点の検討について説明がなされ、審議が行われました。

### 4) 第284回(2014年3月27日開催)

- a. 基準諮問会議からの報告
- b. IASBにおけるリース・プロジェクトの検討状況
- c. IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況
- d. 税制改正への対応について
- e. 税効果会計専門委員会における検討状況

- a. 基準諮問会議より、ヘッジ会計の限定的な見直し、ASBJの新規テーマとして提言されました。
- b. 2014年3月のIASB及びFASBの共同ボード会議について、その主な内容が報告されました。
- c. 「退職給付に関する再測定部分」を仮に削除又は修正した場合における論点の検討と諸外国におけるIFRSの適用方法について、作業部会の検討状況が説明され、審議が行われました。
- d. 平成26年度地方税制改正に伴う会計処理の検討事項が説明され、審議が行われました。審議結果については、周知を図るため議事を公表しております。[議事概要のウェブサイト](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/minutes/20140327/20140327_284g.sh)  
([https://www.asb.or.jp/asb/asb\\_j/minutes/20140327/20140327\\_284g.sh](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/minutes/20140327/20140327_284g.sh))

[tml](#))からご覧ください。

- e. 税効果会計専門委員会の専門委員から寄せられた現行の実務指針に関する課題と ASBJ の適用指針への移管に関するイメージ案について、税効果会計専門委員会の検討状況が説明され、審議が行われました。

### 3. 会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF) 会議がロンドンで開催

2014 年 3 月 3、4 日に会計基準アドバイザリー・フォーラム (ASAF) 会議が英国 (ロンドン) で開催されました。ASAF は、2013 年 4 月に、国際会計基準審議会 (IASB) に対して主に技術的な助言を行うことを目的として設置された会議体で、ASBJ を含む 12 の組織より構成されています。今回の会議には、これらすべての組織の代表者が出席したほか、IASB Hans Hoogervorst 議長、Ian Mackintosh 副議長をはじめ、多くの IASB 理事やスタッフが参加しました。ASBJ からは、西川前委員長が出席しています。

会議では、次の事項について活発な議論が行われました。

- ・ 概念フレームワーク (財務業績計算書における表示の改訂モデル)
- ・ 概念フレームワーク (公開草案化に向けた進め方)
- ・ 概念フレームワーク (複雑性)
- ・ リース
- ・ 開示に関する取組み
- ・ 保険契約
- ・ 料金規制事業
- ・ その他

次回会議は、2014 年 6 月 2、3 日 (ロンドン) に開催される予定です。

### 4. 会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) 会議に参加

2014 年 3 月 6 日及び 7 日の 2 日間にわたり、インドのデリーにて会計基準設定主体国際フォーラム (International Forum of Accounting Standard Setters: 略称 (略称: IFASS)) 会議が開催されました。会議には、英国、米国、カナダ、フランス、ドイツ、オーストラリア、韓国、インド、シンガポール等の会計基準設定主体や各地域グループや IASB から総勢 40 団体 (73 名) の参加があり、ASBJ からは、西川前委員長、小賀坂副委員長、関口常勤委員及び太田専門研究員が参加しました。

本フォーラムは、各設定主体が取り組んでいる研究プロジェクトに関する議論や、IASB の基準開発へのインプットやサポートを行うことを目的とするものであり、年 2 回、春と秋に定期的に会議が開催されています。

今回の会議では、以下のテーマについて議論が行われました。

| No             | 議題                                                                  | 担当       |
|----------------|---------------------------------------------------------------------|----------|
| 2014 年 3 月 6 日 |                                                                     |          |
| 1              | IASB ワークプラン<br>および IFRS 財団<br>の最近の状況について                            |          |
|                | (1) プロジェクト<br>の状況に関する<br>議論                                         | IASB、カナダ |
|                | (2) 解釈及び適用<br>ガイダンス、年<br>次修正プロセス<br>における問題<br>を含む判断<br>基準に関する<br>報告 | ドイツ、IASB |

|                |                          |                   |
|----------------|--------------------------|-------------------|
| 2              | メンバーによるプロジェクトの報告         |                   |
|                | (1) 財務報告における事業モデルの役割     | EFRAG、フランス、英国     |
|                | (2) のれんの減損及び償却に関するプロジェクト | EFRAG、日本、インド、イタリア |
| 3              | 国際公会計基準審議会からのアップデート      | IPSASB            |
| 4              | 概念フレームワーク                |                   |
|                | (1) 概念フレームワークの役割         | ニュージーランド          |
|                | (2) 財務業績計算書での表示と測定との関連   | FASB              |
|                | (3) 測定セクションに関する考察        | IASB              |
| 5              | ベスト・プラクティス・ステートメントの更新    | IFASS 議長          |
|                | (1) IASB と会計基準設定主体との協力関係 |                   |
|                | (2) IFASS 憲章             |                   |
| 2014 年 3 月 7 日 |                          |                   |
| 6              | IASB による主要なアジェンダに関する近況報告 | IASB              |
|                | (1) リース                  |                   |
|                | (2) 金融商品                 |                   |
|                | (3) 開示に関する取組み            |                   |

|    |                                                        |          |
|----|--------------------------------------------------------|----------|
| 7  | 時事的な問題                                                 |          |
|    | (1) 割引率                                                | ドイツ      |
|    | (2) IFRS 第 11 号「共同支配の取決め」適用上の課題                        | イタリア     |
|    | (3) マクロヘッジ                                             | オーストラリア  |
|    | (4) 国際競争入札の下での組込デリバティブの分離                              | インド      |
|    | (5) 持分法－測定基礎なのか？行連結なのか？                                | EFRAG    |
| 8  | 地域グループからの報告<br>● AOSSG<br>● EFRAG<br>● GLASS<br>● PAFA | 各地域グループ  |
| 9  | メンバーによる新たなプロジェクト                                       |          |
|    | (1) キャッシュ・フロー計算書                                       | 英国       |
|    | (2) 年次報告の複雑性                                           | EFRAG    |
|    | (3) 資本提供者による情報の利用                                      | EFRAG    |
| 10 | 社会及び経済発展への会計基準の貢献：機会と脅威                                | シエラレオネ   |
| 11 | IFASS 会議の運営について                                        | IFASS 議長 |

## 5. 「中小企業の会計に関する指針（平成 25 年版）」の公表

日本公認会計士協会、日本税理士会連合会、日本商工会議所及び企業会計基準委員会の関係四団体が主体となって設置された「中小企業の会計に関する指針作成検討委員会」（以下「委員会」という。）は、「中小企業の会計に関する指針」（以下「中小会計指針」という。）の見直しを行い、2014 年 1 月 29 日の委員会においてその公表が承認され、同年 2 月 3 日付で「中小企業の会計に関する指針（平成 25 年版）」として公表しました。

今般の中小会計指針の改正では、企業会計基準委員会が公表した各種の企業会計基準のうち、主に企業会計基準第 26 号「退職給付に関する会計基準」に対応した用語の見直し等を行っています。

関係四団体においては、中小会計指針を取引実態に合わせたより合理性のあるものとするために、年次ごとの見直し及び改正を行うことを決定しており、関係者が協力して中小会計指針の定着に取り組んでいくことによって、中小企業における会計の質の向上、ひいては持続的な経済社会の成長と経済基盤の整備に貢献できるものと期待しています。

なお、「中小企業の会計に関する指針（平成 25 年版）」の全文及び新旧対照表は、[日本公認会計士協会](#)、[日本税理士会連合会](#)、[日本商工会議所](#)、[企業会計基準委員会](#)のそれぞれのウェブサイトに掲載しています。

## 6. 企業会計基準委員会委員長の選任

FASF は、2014 年 3 月 14 日に開催した理事会において、定款第 57 条第 1 項の規定に基づき、同年 4 月 1 日付で小野行雄氏

を企業会計基準委員会委員長に選任することを決議しました。小野行雄氏は、西川郁生前委員長の後任となります。また、小野委員長の任期は、定款第 59 条第 2 項の規定に基づき、2016 年 3 月 31 日までとなります。

## 7. その他の委員会（業務推進委員会）委員の選任

FASF は、2014 年 3 月 14 日に開催した理事会において、定款第 65 条の 2 第 2 項の規定に基づき、その他の委員会（業務推進委員会）委員 1 名の選任を決議いたしました。（※下線付は新任委員）

2014 年 4 月以後のその他の委員会（業務推進委員会）の名簿は以下のとおりです。

### ○業務推進委員会

委員長：都 正二 公益財団法人財務会計基準機構 代表理事常務

委員：小野 行雄 企業会計基準委員会委員長

委員：新井 武広 企業会計基準委員会副委員長

委員：小賀坂 敦 企業会計基準委員会副委員長

※西川郁生氏は同年 3 月 31 日付で業務推進委員会委員を退任しました。

## 8. 第 20 回基準諮問会議を開催

2014 年 3 月 18 日、第 20 回基準諮問会議が開催されました。

会議では、前回までの基準諮問会議において提案された新規テーマに対する対応について審議を行った結果、ヘッジ会計の限定的な見直しについて A S B J の審議テーマとして提言することとなりました。



た。当テーマについては実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼し、開発には困難さも予想されるが、検討に値する可能性があると考えられる項目があるとの評価がなされています。

続いて、今回の基準諮問会議で「指定国際会計基準を任意適用している会社において、親会社の子会社を吸収合併する際に、子会社から受け入れる資産及び負債の適正な帳簿価額の考え方」及び「加速型自社株買い（ASR取引）の会計処理」について新たにテーマ提案がなされ、審議の結果、双方とも実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼することとなりました。

また、ASBJより「ASBJの最近の活動状況」についての報告がなされ、意見交換が行われました。

## 9. ASBJオープン・セミナー特別講演 ～Hans Hoogervorst IASB 議長に聞く ～を開催

2014年2月5日、関係者との意見交換等のために来日されていた Hans Hoogervorst IASB 議長を迎え、ASBJ オープン・セミナー特別講演を東京イイノホールで開催しました。

本セミナーでは、Hoogervorst 議長による「純利益と OCI の定義は可能か」と題した講演のほか、鶯地隆継 IASB 理事による最近の IASB の基準開発の動向（収益認識、概念フレームワーク、リース等）の解説が行われました。

なお、当セミナーの講演内容については、ASBJ Web セミナーとして5月中旬まで会員限定で動画配信しておりますので、こちらをご覧ください。



## 10. お知らせ

### 1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 44 号  
(2014 年 3 月 17 日刊行)

#### 【主な内容】

- ✓ 特集：ASAF への ASBJ（我が国）の取組みについて
- ✓ Accounting SQUARE：「IFRS とどう向き合うか～最近の動向と今後の課題を踏まえて～」…岡田 譲治 IFRS 財団トラスティー
- ✓ CFO Letter：「内なるグローバル化を目指して」…一ノ瀬 俊郎 東日本旅客鉄道（株） 常務取締役
- ✓ Chairman's Voice：「委員長職の任期満了を前にして」…西川 郁生 ASBJ 委員長

- ②有価証券報告書の作成要領（平成 26 年 3 月期提出用）（4 月中旬より順次発送予定）

本書では、平成 26 年(2014 年)3 月期の有価証券報告書を作成する上での各項目の記載事例や根拠条文等のほか、作成上の留意点を掲載しています。

- ③国際財務報告基準(IFRS)2013 IFRS 財団公認日本語版

IASB が公表した IFRS の全内容を

収録した公式出版物「International Financial Reporting Standards 2013」の日本語版。2012 年中の改定内容をフォローして 2013 年 1 月 1 日現在で公表されている基準書等を掲載した最新版であり、合計 3600 頁以上に及ぶ原書の全文が翻訳されています。

基準書である IFRS (第 1 号～第 13 号) 及び IAS (第 1 号～第 41 号)、解釈指針である IFRIC 及び SIC のほか、概念フレームワーク、用語集などを収録しています。強制力のある要求事項 (基準本文、適用指針) を収録した Part A と、強制力のない付属文書 (結論の根拠、適用ガイダンス、設例等) を収録した Part B との 2 分冊となっています (分売不可)。

本年版の主な改定内容は、「投資企業」(IFRS 第 10 号、IFRS 第 12 号及び IAS 第 27 号の修正)、「経過措置ガイダンス: 連結財務諸表、共同支配の取決め及び他の企業への関与の開示」(IFRS 第 10 号、IFRS 第 11 号及び IFRS 第 12 号の修正)、「IFRS の年次改善 2009-2011 年サイクル」などとなっています。

※ご購入は[こちら](#)。

※第 30 号より、FASF 会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ \(会員専用サイト\) よりご覧になることができます](#)。どうぞご利用ください。

## 2) ASBJ Web セミナーのご案内

ASBJ/FASF では、FASF 会員の皆様に ASBJ の開発する会計基準や ASBJ/FASF の活動をより分かりやすく効率的に理解していただくために、Web

セミナーをホームページ (会員専用サイト) で提供しています。

なお、ASBJ オープン・セミナー 特別講演～Hans Hoogervorst IASB 議長に聞く～ (2014 年 2 月 5 日、イイノホールで収録) を期間限定で掲載しておりますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

## 3) [開示実務新任者向け FASF Web セミナーのご案内](#)

FASF では、開示実務新任者向けの解説セミナーを 2013 年 9 月 13 日に大阪、同月 17 日に東京で開催しました。

同セミナーを基に、FASF 発行の有価証券報告書の作成要領及び四半期報告書の作成要領を利用する上で必要と思われる知識の習得や、企業内容等の開示に関する内閣府令や財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等について体系から学ぶ開示の基礎に特化した解説セミナーとして、ホームページ (会員専用サイト) に掲載しておりますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

“ASBJ Newsletter” (第 38 号)

2014 年 4 月 18 日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 20 階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：[planning@asb.or.jp](mailto:planning@asb.or.jp)

Fax：03-5510-2712